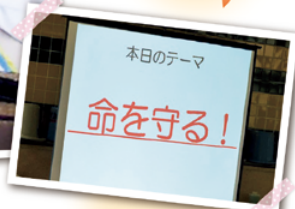
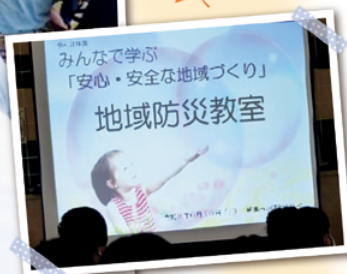


秋葉区社協だより

Vol.39

2021.10.10 発行

支えあい、ともに笑顔でくらすまち



阿賀浦地区活動紹介

— 地域防災教室 —

子どもの頃から防災を学び、そしてさらに家族へ広げることを目的に、新津地区公民館と連携し、阿賀小学校で6月19日(土)に「地域防災教室」を開催しました。

この教室を通して、子どもたちは、「災害はいつどこで起こるか分からないものである」ことや「日頃からの準備や迅速な避難が命を守ることにつながる」ということ、また、「家族間の連絡等の大切さ」に改めて気づき、その気づきが家族へ広がり、地域全体の防災意識を高める機会の一つとなりました。

(阿賀浦コミ協 会長 早川さん)

主な内容

- **特集** 秋葉区社協がすすめる子どもの居場所づくり
いま話題のSDGsってなに？
- 地域福祉推進フォーラムのご案内
- 赤い羽根共同募金のご報告とお願い
- 歳末たすけあい事業のご案内
- 支え合いのしくみづくり 新津第一・第二圏域紹介
- 令和2年度市社協・区社協決算報告
- ダイヤモンド婚・金婚祝賀会中止のお知らせ

今回の特集

秋葉区社協では、子どもたちが身近に集うことができる居場所づくりを推進しています。今号では、その取り組みをご紹介します。

中也読んでね

特集 秋葉区社協がすすめる子どもの居場所づくり

「ここに来てよかった」と感じるところを地域につくりませんか？

地域で子どもたちを育てよう！

学校でも家庭でもない、地域の子どもたちが安心して自由に過ごせる場所として、秋葉区社会福祉協議会では、「子どもの居場所づくり」をすすめています。

小須戸コミュニティ協議会 サードプレイス

～家庭・学校・地域の連携～

これまでの開催

1回目 2月14日（日）

2回目 8月22日（日）

会場：小須戸まちづくりセンター

家庭でも学校でもない「第3の居場所」

小須戸地域には、放課後や長期休暇などに子どもたちが安心して過ごせる場所が少ないため、子育て世代の保護者から「子どもたちだけでも安心して過ごせる居場所」が求められています。

そうした地域のニーズを受けて「子どもの居場所を作りたい」という機運が生まれました。

そして昨年、秋葉区社協主催の「子どもの居場所づくり立ち上げ講座」に参加したコミ協役員と子育て世代の保護者が中心となって、中学生を対象とした「子どもの居場所サードプレイス」を開催しました。

1回目の反省を踏まえ、また参加した中学生からアンケートを取って要望を聞き、2回目に活かす工夫をしました。

運営スタッフは、このコロナ禍の中での開催に向けて入念な打ち合わせを重ね、特に中学校との事前の話し合いは連携を図る貴重な場となっています。

会場の小須戸まちづくりセンターは日ごろから地域の小・中・高校生が勉強をしたり図書室を利用したりと身近な場所になっています。そのまちづくりセンターを一日解放する「サードプレイス」を安心して過ごせる居心地の良い場として地域に根付かせたいと思っています。

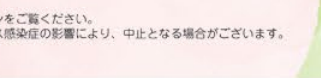
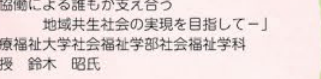
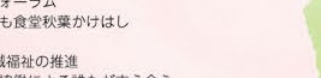
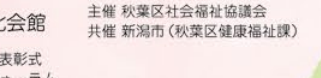
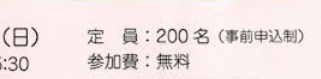
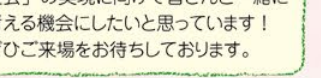
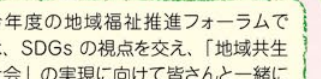
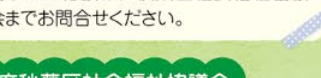
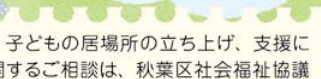
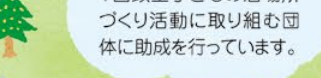
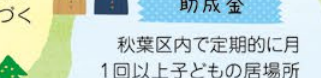


こども食堂秋葉かいはし

こすぽっ子食堂



子どもの居場所



参加した子どもたち

- 友だちに誘われて
- 楽しそうだったから
- 夏休みで勉強に疲れ気分転換したかったから

参加したきっかけ

感想

コロナ禍だけど、いろいろなことができてとても楽しかった！

感想

秋葉区社協は、子どもの居場所づくりを応援しています！

子どもの居場所づくり立ち上げ講座



子どもの居場所を始めたい方を対象に、色々な子どもの居場所のカタチや立ち上げまでの方法（仲間の集め方、場所の確保の仕方など）を学ぶ講座を開催しています。

子どもの居場所団体活動 情報交換会



秋葉区内で子どもの居場所の活動を行っている団体同士の情報交換会を開催し、ネットワークづくりを進めています。

子ども居場所フルーツ ～西古津～

助成金

秋葉区内で定期的に月1回以上子どもの居場所づくり活動に取り組む団体に助成を行っています。

さらに★教えて

今話題のSDGsってなに？

子どもの居場所づくりにもつながるの？

最近よく見たり聞いたりするSDGsってなに？

今世界は、貧困、人種差別、環境破壊など、様々な問題に直面しているんだ。こうした地球規模の問題を解決するために、「誰一人取り残さない」という共通理念のもと、国連が「2030年までに世界をもっとよくするための国際目標」として定めたのがSDGsなんだ。SDGsは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」という英語の頭文字をとった略称で、下にある図のように17の目標があるよ。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



色々な目標があるんだね！秋葉区社協や地域での取り組みもSDGsって当てはまっているの？

そうなんだ！地域の皆さんが一生懸命に日々取り組んでいる「地域福祉活動」は、まさにSDGsを実践していると言えるね☆今回紹介した「子どもの居場所づくり」もつながっているよ。



令和3年度秋葉区社会福祉協議会 地域福祉推進フォーラム

今年度の地域福祉推進フォーラムでは、SDGsの視点を交え、「地域共生社会」の実現に向けて皆さんと一緒に考える機会にしたいと思っています！ぜひご来場をお待ちしております。

日時 令和3年 12月5日(日) 13:30～15:30
会場 秋葉区文化会館
第一部 社会福祉功労者表彰式
第二部 地域福祉推進フォーラム
活動報告 こども食堂秋葉かいはし
基調講演 「持続可能な地域福祉の推進」
一住民の参画と協働による誰もが支え合う地域共生社会の実現を目指して～
講師 新潟医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 特任教授 鈴木 昭氏

詳しい内容はチラシをご覧ください。
新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となる場合がございます。

赤い羽根共同募金へのご協力をお願いします

今年も 10 月 1 日より赤い羽根共同募金運動が全国一斉に展開されます。募金としてお寄せいただく皆さまのやさしい思いは、県内の福祉施設や秋葉区内の地域活動などの福祉事業を推進する様々な活動及び、災害時のボランティア活動支援などを応援するために活用されます。皆さまのあたたかいご支援、ご協力をお願いいたします。

皆さまの
あたたかい気持ち
が
まちを豊かに！

令和3年度共同募金目標額	
14,102,000 円	赤い羽根募金 10,102,000 円 歳末たすけあい募金 4,000,000 円



令和2年度共同募金運動結果報告（秋葉区）
ご協力ありがとうございました

昨年度はコロナ禍にもかかわらず、あたたかいお気持ちをたくさんお寄せいただき、心より御礼申し上げます。



令和2年度共同募金総額	
13,398,363 円	赤い羽根募金 9,297,865 円 歳末たすけあい募金 4,100,498 円



「歳末たすけあい募金」を財源として実施しています。

歳末たすけあい事業



住民同士の交流を目的とする歳末時期に行う事業（クリスマス会や賽の神など）を支援します。ぜひご活用ください。

実施期間 11月～1月末まで

助成額 ※事業費総額の3分の2以内を上限

- 自治会・町内会 … 1万円
（複数の自治会・町内会で実施する場合は、1万円×実施団体数）
- コミュニティ協議会、地区社協 … 10万円

活用紹介

山の手コミュニティ協議会
ミニ門松作り教室

秋葉区社協の助成金を利用し、毎年恒例のミニ門松作り教室を令和2年12月22日（火）に開催しました。人数の制限等の感染症対策をした上で開催し、25名が参加されました。

最初に門松の由来や習わしについて学んだ後、どんなでも簡単に作れるように講師が優しく丁寧に指導し、皆さん思い思いの門松を作っていました。

参加者からは「事前にお休みを取って来ました。楽しみにしています。」と嬉しいお言葉を頂き、とても良い事業になりました。ありがとうございました。



歳末除雪見守り事業

自治会・町内会が助け合いと見守りを目的として実施する除雪活動を支援します。

活動例 高齢者や障がい者世帯への除雪活動
通学路の除雪活動 等

助成額 ※11月～1月末に支出した経費のみ対象
上限：3万円

活用紹介

善道町1丁目自治会
歩道除雪隊

善道町1丁目自治会では、子ども達の安全確保の為、冬期間に協力者を募り、除雪隊として活動をしています。



子ども達が歩道で登下校できるように



自治会役員・自治会応援団・PTAで除雪隊結成！

基本はゴミステーション通路と通学路の確保ですが、状況をみて高齢者宅前も除雪をしています。

今年の豪雪時は大変苦労しましたが、秋葉区社会福祉協議会の助成金を利用して、スコップやライト等、必要な資材を購入することができて助かっています。



※必要な書類等、詳細については秋葉区社会福祉協議会までお問い合わせください。秋葉区社会福祉協議会 TEL0250-24-8376

支え合いのしくみづくりとは…

新潟市では、住民主体による生活支援・介護予防サービスの充実を図るため身近な地域での支え合いを推進し、支え上手・支えられ上手の地域づくりをすすめています。

支え合いのしくみづくり推進員

- 秋葉区全域 … 白井
- 新津第一・第二圏域 … 加藤
- 新津第五圏域 … 宮腰
- 小合・金津・小須戸圏域 … 時田

支え合いのしくみづくり
リレートーク



～新津第一・第二圏域～



荻川地区社会福祉協議会

荻川やすらぎの間

毎週水曜日・午後1時～
会場：荻川コミュニティセンター

今回は、支え合いの居場所「荻川やすらぎの間」をご紹介します。

荻川やすらぎの間の立ち上げまでの背景

区社協が市から委託を受け運営していた、家に閉じこもりがちな高齢者を対象とした新潟市生きがい対応型通所事業の居場所が、平成30年度で終了すると市より説明を受けました。区社協としても、何とか形を変えて継続できないか、荻川コミ協・地区社協に相談をしました。

区社協から相談を受け、検討を重ね、「通っておられる方々の居場所が無くなるのは困るよね。この荻川地区で支えていかないと。」という思いのもと、荻川コミ協・地区社協で平成31年4月に『荻川やすらぎの間』を立ち上げました。



市や地域の情報や健康講話など幅広い情報を提供



楽しく脳トレもしています

発足から3年目、荻川地区社協が中心となり、荻川コミ協女性部及び生活福祉部、ボランティアと協力しながら参加者の心やすらげる居場所となるよう、週1回開催をしています。

高齢者が家に閉じこもらず元気で健康でいられる、優しさで楽しさでいっぱい『荻川やすらぎの間』です。



荻川地区社協の皆さん



健康体操でフレイル予防

「ここがあるからいい」「ここに来るのが一番」「来るところがあって嬉しい」と皆さんがおっしゃってください、私達も喜びを感じています。

ひとり親世帯または両親がいない世帯の方へ

ランドセル・指定体操着購入費の一部を助成します

対象 ※下記、1・2両方の要件を満たす世帯が対象

1. 秋葉区民で令和4年4月に小・中学校へ入学する子どもがいるひとり親世帯または両親がいない世帯
2. 市民税非課税世帯(※生活保護世帯除く)

助成額 ランドセルまたは学校指定体操着購入費用
1名につき、上限12,000円

申込期間 令和3年11月1日(月)～令和4年1月31日(月)



障がいをお持ちの一人暮らしの方へ

おせち料理をお届けします

孤独感を軽減し、あたたかいお正月を迎えていただけるよう、令和3年12月30日(木)におせち料理をお届けします。



申込み

民生児童委員または秋葉区社会福祉協議会へご相談ください。

※高齢者単身世帯の方につきましては、「友愛訪問事業」を利用している世帯のみが対象となります。

ダイヤモンド婚・金婚祝賀会中止のお知らせ

ご結婚60周年のダイヤモンド婚、50周年の金婚のご夫婦を祝う『ダイヤモンド婚・金婚祝賀会』につきまして、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年度に引き続き今年度も中止とさせていただきます。

対象のご夫婦の皆様には心よりお祝い申し上げます。

善意の あたたかいご寄付を ご寄付 ありがとうございます

秋葉区内の福祉事業・活動に活用させていただきます。
(令和3年3月1日～令和3年8月31日)

寄付者氏名(敬称略)	寄付金額・物品
ベルシティ新津(株)鈴木組	68,581円
ラブママ	30,000円
匿名	150,000円
匿名	未使用ハガキ 2,008円分
匿名	未使用切手 2,644円分
匿名	玄米 30kg×3袋

夏休みに親子で体験・学びを共有する
小学生親子講座を開催しました。

親子でまなぼうさい 7月31日(土)

避難所で使う段ボールベッドを組み立てたり、応急手当やガスの復旧を教えてもらったり、役立つ防災グッズを手作りしたり、さまざまな体験やNPO法人ふるさと未来創造堂の中野さんのお話で防災を親子で学びました。



サイエンス★ラボ 8月1日(日)

大変ご好評をいただいております「サイエンス★ラボ」を2年ぶりに開催しました。
今回の実験のテーマは、「小さな生物のふしぎな力」。学生のみなさんの優しく丁寧なサポートで実験は大成功でした！



秋葉区ボランティア・市民活動センター TEL0250-24-8345

令和2年度事業報告及び決算概要

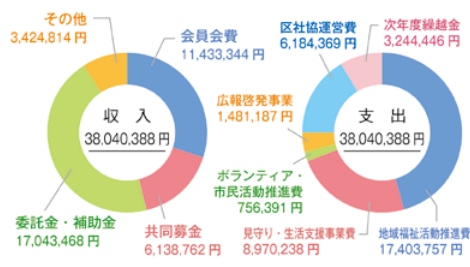
令和2年度事業報告及び決算概要

新潟市秋葉区社会福祉協議会(以下「秋葉区社協」という。)は、区内11の地区社会福祉協議会ごとに、地域コミュニティの特色や地域性に応じた住民の主体的な地域福祉活動が活発に行われるよう、様々な支援を行うとともに、第3期秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(期間:2021年度～2026年度 6年間)策定のため、各地域ごとに福祉懇談会を開催しました。

また、秋葉区内の高齢者等住民の生活支援・介護予防活動を充実・強化できるよう、多様な機関を構成員とする「支え合いのしくみづくり会議(第1層及び第2層)運営の受託団体」として、支え合いのしくみづくり推進員(生活支援コーディネーター)を配置し、地域の社会資源の把握やネットワークの構築に取り組んでいます。

更に、秋葉区ボランティア・市民活動センター運営委員会で見えをいただきながら、各種ボランティア講座や小・中学校で総合学習の支援等を行いました。

加えて、制度の狭間や社会的孤立に起因する様々な複合的課題等に対しCSW(コミュニティソーシャルワーカー)を中心に支援を行うとともに、新型コロナウイルス感染症が広がる中、急増した生活困窮世帯へのコロナ特例緊急小口資金及び総合支援資金の申し込みに対しては、対象世帯に寄り添いながら相談に応じました。



新潟市社会福祉協議会 令和2年度事業報告

全国的な新型コロナウイルス感染症拡大というかつて経験したことのない事態により、不特定多数との接触回避や行動範囲の制限を余儀なくされた1年でしたが、本会では、地域住民や関係機関と共に創意工夫を凝らしながら、地域のつながりを断つことの内容、新たな支え合いのしくみづくりに努めました。

令和2年度は本会活動指針である「新潟市社会福祉協議会総合計画」「同計画第3次実施計画」の最終年度を迎えたことから、全職員が自身の反省を踏まえ関わりを持って、これまでの取り組みを振り返りました。

未達成の部分や新たに顕在化した課題解決に向け、国が進める「地域共生社会」の実現や、国を超えた取り組みである「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」を目指す「持続可能な開発目標(SDGs)」等との整合性を図りながら、令和3年度を始期とする6年間の本会活動の羅針盤として「新潟市社会福祉協議会福祉ビジョン2021」を策定しました。

令和2年度決算

資産の部		負債の部	
金額	金額	金額	金額
流動資産	1,096,681,150	流動負債	518,735,405
固定資産	413,670,570	固定負債	474,511,169
基本財産	1,362,817,616	負債の部合計	993,246,574
その他固定資産		純資産の部	
		基本金	18,150,000
		基金	1,248,930,754
		国庫補助金等特別積立金	29,783,049
		次期繰越活動収支差額	583,058,959
		純資産の部合計	1,879,922,762
資産の部合計	2,873,169,336	負債及び純資産の部合計	2,873,169,336

事業区分	収入	支出	差異
社会福祉事業	4,011,030,172	3,779,922,161	231,108,011
公益事業	742,565,420	732,472,148	10,093,272
内部取引消去	△7,911,301	△7,911,301	0
法人合計	4,745,684,291	4,504,483,008	241,201,283

※事業計画・予算及び事業報告・決算の詳細は、新潟市社会福祉協議会ホームページ(<http://www.syakyo-niigatacity.or.jp/organization/business-plan>)に掲載しています。

秋葉区社協だよりの郵送申込みを受け付けております。

秋葉区にお住まいの方で新聞未購読等、秋葉区社協だよりが届いていない世帯で郵送を希望される方は、秋葉区社会福祉協議会までお申込みください。

社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会

秋葉区社会福祉協議会

新潟市秋葉区新津本町 1-2-39

TEL: 0250-24-8376 (代表) FAX: 0250-23-3322

TEL: 0250-24-8345 (秋葉区ボランティア・市民活動センター)

URL: <http://niigataakihaku-syakyo.jp/>

秋葉区社会福祉協議会

検索

ホームページ
も見てね

